

様式(細則 5-2)

令和3年6月25日

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

議員名 芦 谷 英 夫



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため(視察)研修)を(実施)受講)したので、その結果を報告します。

記

- 1、期 日 令和3年6月15日(火) 13時～15時10分
- 2、視察内容 地域づくり出合いのひろば“タウンミーティングしまね”
- 3、視 察 先 松江市(いきいきプラザ島根)
- 4、調査経費 交通費 9,300円(JR、タクシー利用))
- 5、調査研究活動の概要 別紙のとおり



地域づくり出合いのひろば“タウンミーティングしまね”出席のため

令和3年6月25日

- 1 日 時 令和3年6月15日(火) 13時～15時10分
- 2 場 所 松江市(いきいきプラザ島根)
- 3 プログラム 第1部 地域で活躍する「わが島根づくり」実践者からのエール
第2部 地域団体からのPR
第3部 地域団体と情報交換してつながろう

4 概 要

- ① この催しは、地域づくりに中高年者の参加を促す、中高年者のさまざまな取り組みを紹介することを目的として開催され、地域活動の実践者の意見発表、出展した地域団体からの説明や啓発活動、そして地域団体との出合いの場、情報交換会が行われた。
- ② 出展したのは、環境保護「くにびきエコクラブ」、健康づくり「県レクリエーション協会」、子ども子育て「紙芝居グループ「だんだん」」、「まつえこども食堂さいかまんまる亭」、災害ボランティア「大田市社会福祉協議会 ひより」、地域づくりはたらきの場の拡充「県シルバー人材センター連合会」、共生社会農福連携「社会福祉法人 喜和会 障害者支援施設 太陽の里」、認知症予防カフェ「(有)御華門 のあカフェ」、観光ボランティア「松江市観光ボランティアガイドの会」など各分野から9の団体や組織。
- ③ この催しは、6月18日浜田市でも開催され、大田市社会福祉協議会 ひより、浜田市シルバー人材センター、浜田市社会福祉協議会、益田観光ボランティアガイド友の会、日本語交流クラブGOTO☆ワンハート、県西部視聴覚障害者情報センター、しまね海洋館などが出展。

5 所 見

- ① 中高年者の健康や生きがいづくり、社会参加などが叫ばれ、行政としてそのための環境や条件を整えることが求められており、参加者などの減少や低迷している原因を分析し、先進例や他市に学び施策を推進する必要がある。
- ② 浜田市の状況を概括すると、高齢者の参加状況などは、高齢者クラブは平成29年に60クラブ、2,172人の会員であったものが、令和3年には52クラブ1,705人となり、4年間で8クラブ、470人減少し、浜田市シルバー人材センターは、令和2年度を元年度と比べると、会員数は455人が429人へ、契約金額は185,740千円が178,146千円へ、就業率は81・1%が79・3%へとそれぞれ減少している。
- ③ そのほか、高齢者の生涯学習や体験学習などを行う城山学級と城山大学は、この5年間で188人から125人に、パソコン教室のシニアネットの会員は、156人から130人に、それぞれ減少している。リニューアルしたくにびき学園の入学生は、西部校定員25人に対し18名、東部校定員50人に対し35人の入学と少ない状況である。
- ④ このように浜田市では、高齢者数の減少もあり、いずれにおいても減少しており、関係団体などでさまざまな取り組みが行われている。高齢者の体力、気力、能力、得手不得手など千差万別であり、その人に応じた居場所と出番をつくる地域づくりが必要となっている。
- ⑤ 上記のような取組の集大成が要介護としてあらわれ、介護認定率を平成24年と令和3年とで比較すると、浜田市は23・0%が23・5%と微増し、江津市は25・0%が22・0%に下がっており両市で大きな開きが出ている。浜田市は介護予防に資する住民運営の通いの場のか所数、参加者数とも少なく、このような高齢者の社会参加、介護予防の取組の弱さが、介護認定率の高さに影響していないか検証が必要である。 一以上一